

製品安全データシート

整理番号 : AD - M - 12 - 3

1. 製造名及び会社情報

会 社 : タキロン株式会社
住 所 : 〒671 -2421
兵庫県姫路市安富町長野 405
担当部門 : 安富工場 技術グループ
電 話 (緊急連絡先) : 0790 -66 -2285
ファックス : 0790 -66 -2378
推奨用途及び使用の制限 : 床材の接着
作 成 日 : 2009 年 06 月 01 日
改 訂 日 : 2010 年 12 月 16 日

製 品 名 : タキボンド EX - 1

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類基準に該当しない

絵表示またはシンボル : なし

注意喚起語 : なし

危険有害性情報 : なし

注意書き

[予防策]

- ・ 取扱い上の注意を読みご理解下さい。
- ・ 床材の接着用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 開封した接着剤は、速やかに使い切ってください。
- ・ 火気のある所では、使用しないで下さい。
- ・ 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用して下さい。
- ・ 取扱い後はよく手を洗ってください。
- ・ 環境への放出を避けて下さい。

[応急処置]

- ・ 火災の場合、安全第一で、適切な消火剤を使用し消火して下さい。
- ・ 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師の診断を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗い、かゆみや炎症が残った場合は医師の診断を受けて下さい。
- ・ 眼に入った場合、速やかに流水で15分以上洗ってから、医師の診断を受けて下さい。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には、外して洗ってから、医師の診断を受けて下さい。
- ・ 作業衣についた場合、汚染された衣類は脱ぎ、再使用する場合は洗濯して下さい。
- ・ 液がこぼれた場合、乾いた砂やウエス等により、拭き取り回収して下さい。

[保管]

- ・ 容器を密閉して直射日光の当たらない5～35℃で、保管して下さい。
- ・ 法令で定められた限度内で、場所を決めて保管して下さい。

[廃棄]

- ・ 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託して下さい。

国/地域情報

消防法 : 非危険物(指定可燃物 可燃性固体)

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 化学名 : ウレタン樹脂系接着剤
 成分及び含有量

成分	含有量	CAS.NO.	官報公示整理番号 化審法	PRTR法	労安法
ウレタンプレポリマー	20～30%			非該当	非該当
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)	0.1～1.0%	101-68-8	4-118	非該当	通知
シリカ	1～5%	67762-90-7	7-476	非該当	通知
無機充填材	35～45%			非該当	非該当
希釈剤	25～35%			非該当	非該当

MDIの含有量が1%未満の為、PRTR法には該当しません。含有量は参考値
 タキボンドEX-1は石綿(アスベスト)及び厚生労働省の指定する化学物質(14物質)は含んでおりません。
 4VOC放散速度基準:
 日本接着剤工業会自主管理規定 J A I A - 4 0 3 2 7 3 4VOC基準適合

4. 応急措置

目に入った場合 : 清浄な水で15分間以上洗眼し、直ちに眼科医の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合 : 付着物を拭き取り、水と石けんでよく洗う。かゆみ、炎症等の症状が出た場合は、速やかに医師の診断を受ける。
 吸入した場合 : 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、速やかに医師の診断を受ける。
 飲み込んだ場合 : 嘔吐させること。水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。
 保護衣を着用するほか、状況によっては不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。
 消火剤 : 粉末ドライケミカル、二酸化炭素、泡消火器、大量の噴霧水

6. 漏出時の措置

- ・漏出した場所の付近の周辺にはロープを張り、人の立入りを禁止する。付近の着火源を取り除き、消火器材を準備する。多量の場合には流路を盛土などで囲って、流出を防止する。
- ・少量の場合は、紙や布で拭き取り焼却する。多量の場合は火花の出ないシャベル等で密閉できる容器にすくい取る。
- ・漏出量の多少に関わらず、漏出液を下水、河川、海洋等に排出させてはならない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 火気禁止。炎、火花、高温体との接近、その他点火源となる恐れのある機械等の使用禁止。取扱いは換気のよい場所で行い、目、皮膚への接触を防止する為、保護眼鏡、保護マスク、保護手袋等を着用する。
 保管 : 容器を密閉し、冷暗所で保管する。その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定めるところに従う。

8. 暴露防止及び保護措置

	4,4' ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)	シリカ
管理濃度 (労働省告示第79号)	設定されていない	設定されていない
許容濃度 (日本産業衛生学会)	(2008年) 0.05mg/m ³ (TLV-TWA)	(2002年) 2mg/m ³ (吸入性粉塵) 8mg/m ³ (総粉塵)
許容濃度 (ACGIH)	(2009年) 0.005ppm(TLV-TWA)	設定されていない

設備対策 蒸気、ミストが発生する場合には、局所排気装置などの換気のための装置を設置する。

保護具 呼吸用保護具：必要に応じ防毒マスク(有機ガス用)を着用する。

保護眼鏡：着用する。

保護手袋：着用する。

保護衣：直接皮膚に触れないような長袖作業衣などを着用する。

9. 物理及び化学的性質

外観等	: 白色粘稠液体
沸点	: データなし
蒸気圧	: データなし
揮発性	: 含有する希釈剤は揮発性あり
密度	: 1.30 1.50(23)
溶解度	: 水に不溶
蒸気密度	: 空気より大

10. 安定性及び反応性

引火点	: 90 以上
発火点	: データなし
爆発限界	: 下限： 上限：
可燃性	: あり
発火性(自然発火性、水との反応性)	: なし
酸化性	: なし
自己反応性・爆発性	: 通常の実用条件下においては安定である。
粉じん爆発性	: なし
安定性・反応性	: 湿気、加熱により反応して高分子化し、増粘、ゲル化を起こす。

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

急性毒性(50%致死量等を含む):

	4,4' ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)	シリカ
LD ₅₀ (経口)ラット	31,600 mg/kg	3,160 mg/kg
LC ₅₀ (吸入)ラット	1.5 mg/L	2,190 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性:

脱水され皮膚が剥がれることがある。(MDI)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:

目に触れると激しい痛みが起こり、すぐにこれを完全に除かないと、視力障害を起こすことがある。(MDI)

呼吸器感作性または皮膚感作性:

反復してあるいは長期にわたり接触すると皮膚が感作されることがある。反復してあるい

は長期にわたり吸入すると、喘息を起こすことがある。(喘息の症状を示した者は、以後この物質に接触しないこと、又MDIに感作された場合、他のイソシアネート類に反応(喘息)することがある。(MDI))

生殖細胞変異原性：

Ame s 試験 S - 9 M i x を添加した場合、一部のサルモネラ菌 (T A - 9 8、 T A - 1 0 0) で、変異原性を示す。(労働省通達) (MDI)

がん原性： I A R C の評価は、グループ 3 (人に対する発がん性は分類できない) に該当する。(MDI、シカ)

生殖毒性：現在のところ知見なし。

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)：

現在のところ知見なし。

特性標的臓器/全身毒性(反復暴露)：

長期間蒸気・ミストにさらされると肺機能が低下するおそれがある。また、皮膚過敏性も慢性の症状になることがある。(MDI)

吸引性呼吸器有害性：

現在のところ知見なし。

12. 環境影響情報

生態毒性：現在のところ知見なし。

分解性：現在のところ知見なし。

生体蓄積性：現在のところ知見なし。

13. 廃棄上の注意

廃油と廃プラスチック類の混合物に相当し、処理は許可を受けた処理業者に委託する。廃棄の際は危険性情報の反応性をふまえて処理を行うこと。

14. 輸送上の注意

「取扱い及び保管上の注意」の項の記載による他、化学物質に関する一般的注意による。

国連分類：分類されていない

国連番号：分類されていない

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物質(第五十七条の二) 該当 (MDI、シカ)

有機溶剤中毒予防規則 ... 該当せず

変異原性を認められた化学物質(第二十八条労働省通達) 該当(MDI)

化学物質管理促進法 (PRTR法) ... MDIはPRTR法対象物質ですが、閾値未満である為該当しません。

毒物及び劇物取締法 ... 該当せず

消防法 ... 非危険物(指定可燃物 可燃性固体)

危険物船舶運送及び貯蔵規則 ... 該当せず

建築基準法(2003年7月より) ... 使用制限なし

16. その他の情報(記載内容の問い合わせ先、引用文献等)

タキボンド EX - 1 は石綿(アスベスト)及び厚生労働省の指定する化学物質(14物質)は含んでおりません。

4 VOC 放散速度基準：

日本接着剤工業会自主管理規定 J A I A - 4 0 3 2 7 3 4 V O C 基準適合

参考資料：化学物質管理促進法対象物質全データ(化学工業日報社)

：各社使用化学製品の「製品安全データシート」

：GHS分類結果データベース(独立行政法人製品評価技術基盤機構)

：GHSモデルMSDS情報(安全衛生情報センター)